

平成 30 年度第 2 回庄原市小学校外国語教育研修会 (小学校外国語パワーアップ事業)

平成 30 年 10 月 23 日 (火) 庄原市立庄原小学校

新学習指導要領を踏まえた小学校外国語の指導方法等について理解を深めるとともに、外国語指導助手 (ALT) 等を活用した実践的な研修を行い、小学校教員の外国語教育に係る指導力及び英語力の向上を図ることを目的に研修会を行いました。

【公開授業】第 5 学年 We can! 1 Unit5 「She can run fast. He can jump high. できること」
授業者 庄原市立庄原小学校 教諭 奥 真理子(パワーアップリーダー), ALT Glendy Soriano

本時の目標 : 先生へのインタビュー結果をもとに, He や She を使って紹介文を書こう。

☆Small Talk で, 児童同士ペアで, 自分のできることの紹介, インタビューをした先生のできることを紹介し合って, やり取りをさせる。

☆十分に音声で表現に慣れ親しんだところで, 英単語の書いてある絵カードを並べかえさせ, 英語の語順を意識させる。その後, 並べかえた絵カードをワークシートに貼らせ, 英文を書き写させる。



【指導・助言】「主体的な学び, 話すこと[やり取り]の指導から書くことにつなげる指導の充実に向けて」
広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 住吉谷 大輔

- 児童が英語の型にとらわれず, 自分たちの言いたいことをしっかりと言うことができている。伝えたいことを伝えさせる指導を続ける。
- 音声でしっかり伝えさせ, 文字で書かせるという指導の流れがよくできている。また, 語順を意識させるためのカード使用が効果的であった。
- 英文を書かせる際は, 文を書く目的をもたせていく。誰に, 何のために書くのか考えさせ, 文字で伝えるよさを意識させていく。



【講義】「話すこと[やり取り]から書くことにつなげる指導について」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥

【演習】「英語力向上に向けて (文字の音と名称について)」

庄原市教育委員会 指導主事 伊澤 知弥, ALT Jesse Noe

話すこと [やり取り] から書くことにつなげる指導のポイント

- 文字指導では, 何も見ずに自分の力で活字体の大文字, 小文字を書くことができることが目標である。児童自身に英語の文字の特徴に気付かせたりして, 文字への認識を高めさせる。
- 音声で十分に慣れ親しませてから書かせる指導に入る。また, 書かせる際は, スモールステップで児童に無理がないように留意して指導する。(例: 語順を絵カードで並べる, 色分けなどして英文の提示方法を工夫する, 音声の違いから語順に気付かせるなど)

【参加者の振り返りより】

- ・音声への慣れ親しみから書く活動へと自然な流れで指導をし, 書くことへの抵抗感, 負担感を減らしたい。
- ・文の構成への気付きや単語を書き写すためのワークシートやカードの工夫が参考になった。
- ・「書くこと」に苦手意識を持たさないよう, スモールステップで進めていきたい。
- ・自身の英語向上に努めたい。発音練習を校内研修でも行い, 児童に手本や, 学ぶ姿勢を見せたい。

